

2-1

水管理制御処理設備

H17,18年度において平成元年年度から運用した(17年経過)水管理制御処理設備を更新しました。(図2-1, 2-2)

水管理制御処理設備は、牧田川取水工と5つの調整池の諸量データ収集・演算を行い水需要に応じたゲート等設備の監視・操作を行うための設備です。

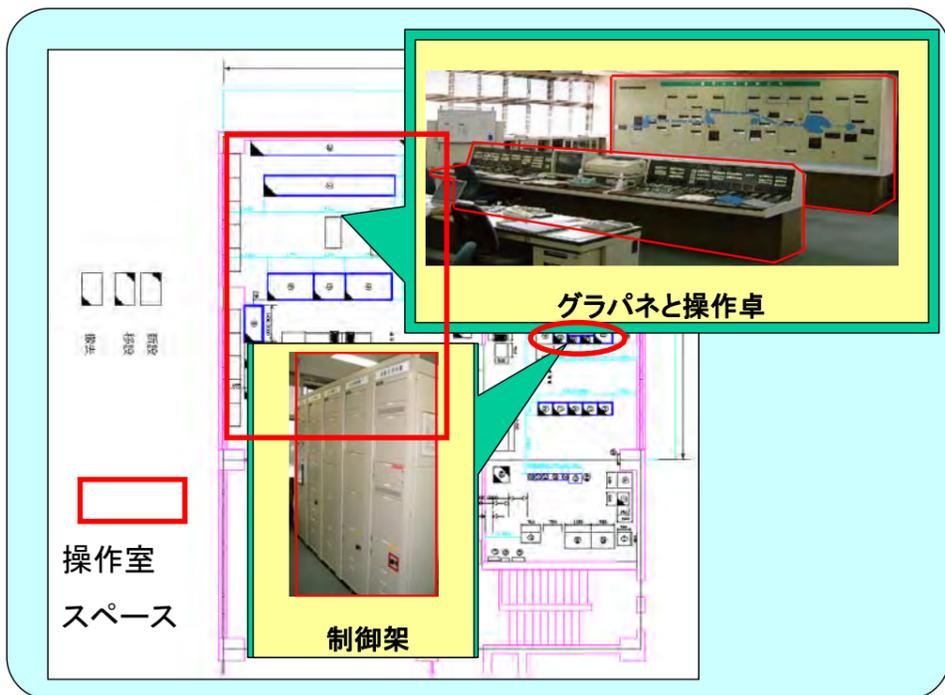


図2-1 更新前 菰野調整池(三重用水管理所)



図2-2 更新後 菰野調整池(三重用水管理所)

2-2

水管理制御処理設備の特徴

- 省スペース化の実現
(防災室を整備)危機管理対応の充実を図る。
- コスト縮減
- 1対nの伝送方式
- プラズマディスプレイ(61型)とRGBビデオスイッチを採用
- 高度な表示
(8画面マルチ表示装置・FOMAテレビ電話・情報配信)
- 外出先でもデータ取得が可能(iモード、メール通知)
- 端末装置の集約化(他設備の端末装置も並べて設置)



図2-3 8画面マルチ表示の画面例

2-3

高度な表示を可能に

情報配信装置と画面マルチ表示装置、テレビ電話装置などを用いていろんな画面を組み合わせた高度な表示を可能としました。

- 8画面マルチ表示(図2-3)
- 情報配信システム(PC2画面+テロップ)(PC+ビデオ+テロップ)(図2-4)
- テレビ電話画面(外出先からも映像取得が可能)

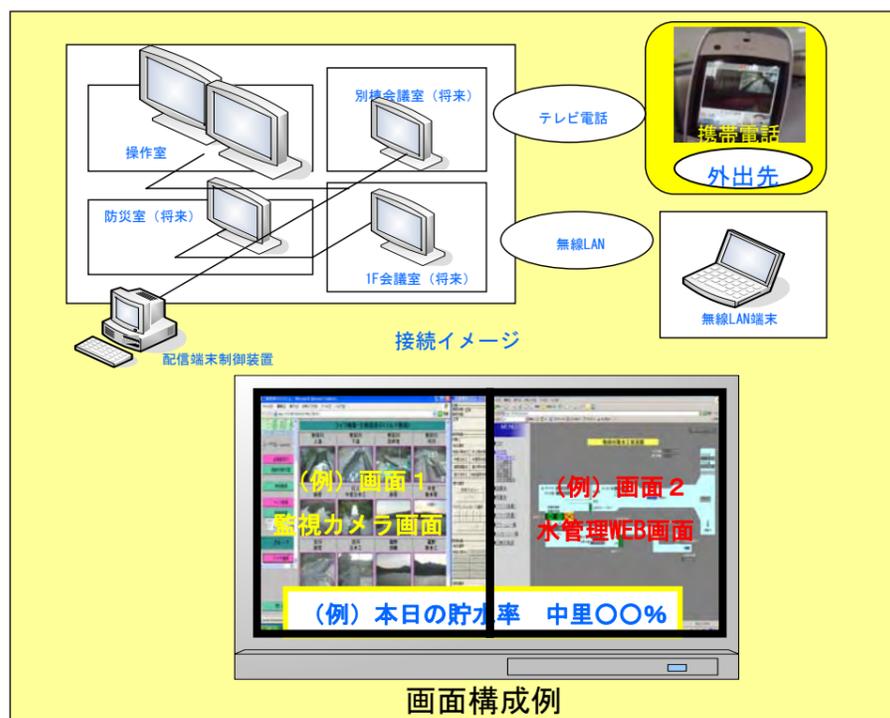


図2-4 情報配信システム

ポイント: 関連端末装置を操作卓に集約・大型ディスプレイの採用・8画面マルチ表示・情報配信設備